

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	期間延伸	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	増減額(億円) 上段:増減額 中段:物価上昇増減額 下段:物価上昇以外増減額	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点		都道府県・政令市 等の意見
1	国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路	自 岐阜県高山市 清見町夏厩 至 岐阜県高山市 丹生川町坊方	H4年度事業化 H6年度用地着手 H8年度工事着手	無	2,445 2,568	123(約5%) 88 35	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大 きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約62% (令和7年 3月末時点) 飛騨清見IC～高山IC L=15.2km 平成16年度～平成19年度開 通(2/4)	・令和7年度は以下内容を実施 【高山IC～丹生川IC(仮称)】 ・調査推進 環境調査、水文調査、 トンネル設備設計、 調査設計(協議用資料作成等) ・用地買収推進 上切地区移転補償 ・工事推進 新張地区ほか改良工、 岩井沢橋橋梁下部工、 下切高架橋ほか橋梁上部工、 坊方トンネル工	・残土受入地の変更を行い、 運搬費の削減を行うことで、コ スト縮減を図る。 ・BIM/CIMの活用を行い、施工 時の干渉チェックや品質管理 情報を付与することで維持管 理にも活用し、事業全体の円 滑化・効率化を図る。 ・技術の進展に伴う新工法の 採用等による新たなコスト縮減 に努めながら事業を推進す る。	【事業全体】 総便益B:13,877億円 総費用C:8,648億円 B/C=1.6 【事業全体】 総便益B:16,714億円 総費用C:9,680億円 B/C=1.7	【残事業】 総便益B:- 総費用C:- B/C=- 【残事業】 総便益B:5,154億円 総費用C:3,538億円 B/C=1.5	継続
	国道158号 中部縦貫自動車道 高山東道路 (平湯～久手)	自 岐阜県高山市 奥飛騨温泉郷 平湯 至 岐阜県高山市 丹生川町久手	R6年度事業化	無	1,000 1,076	76(約8%) 76 -	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大 きな変化が見られない	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和7年 3月末時点)	・令和7年度は以下内容を実施 【平湯IC～久手IC(仮称)】 ・調査推進 地質調査、環境調査、水文調査、 道路予備設計 調査設計(協議用資料作成等)	・技術の進展に伴う新工法の 採用等による新たなコスト縮減 に努めながら事業を推進する 。	(事業区間を高山清見道路として算出した場合) 【事業全体】 B/C=1.2 B/C=1.2 (事業区間を高山東道路(平湯～久手)として 算出した場合) 【事業全体】 B/C=0.8 B/C=1.04	【残事業】 B/C=1.8 B/C=2.1 【残事業】 B/C=0.8 B/C=1.04	
2	国道153号 豊田北バイパス	自 愛知県豊田市 逢妻町 至 愛知県豊田市 勘八町	H18、H20年度事業化 H21年度用地着手 H25年度工事着手	無	449 460	11(約2%) 11 -	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大 きな変化が見られない	用地進捗率:約93% 事業進捗率:約64% (令和7年 3月末時点) 愛知県豊田市平戸橋町～豊 田市勘八町 L=0.8km 令和元年度開通(2/4)	・令和7年度は以下内容を実施 【豊田市逢妻町～豊田市平戸橋町】 ・調査推進 水文調査、用地調査、 調査設計(協議用資料作成等)、 ・用地買収推進 西山地区用地買収 ・工事推進 西山地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の 採用等による新たなコスト縮減 に努めながら事業を推進す る。	【事業全体】 総便益B:6,320億円 総費用C:2,625億円 B/C=2.4 【事業全体】 総便益B:7,787億円 総費用C:2,992億円 B/C=2.6	【残事業】 総便益B:2,922億円 総費用C:336億円 B/C=8.7 【残事業】 総便益B:3,458億円 総費用C:326億円 B/C=10.6	継続
	国道155号 豊田南バイパス	自 愛知県豊田市 駒場町 至 愛知県豊田市 逢妻町	S48年度事業化 S50年度用地着手 S58年度工事着手	無	972 1,012	40(約4%) 13 27	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大 きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約85% (令和7年 3月末時点) 愛知県豊田市駒場町～愛知 県豊田市東新町 L=9.2km 昭和62年度～平成25年度開 通(2/4)	・令和7年度は以下内容を実施 【豊田市東新町～豊田市逢妻町】 ・調査推進 水文調査、 調査設計(協議用資料作成等) ・用地買収推進 逢妻地区ほか移転補償 ・工事推進 横山地区ほか改良工、 横山地区ほか舗装工 豊田市東新町～豊田市逢妻町 L=3.7km(2/4) 令和8年度開通予定	・支承と橋梁伸縮装置におい て使用する製品の経済性、施 工性、走行性を考慮して設計 段階において比較を実施し、コ ンバクト管、荷重支持型(鋼 製)の伸縮装置の採用などで 工期やコストの縮減を図る。 ・技術の進展に伴う新工法の 採用等による新たなコスト縮減 に努めながら事業を推進す る。	(事業区間を豊田北バイパスとして算出した場合) 【事業全体】 B/C=3.0 B/C=3.3 (事業区間を豊田南バイパスとして算出した場合) 【事業全体】 B/C=2.2 B/C=2.6	【残事業】 B/C=10.9 B/C=12.6 【残事業】 B/C=9.2 B/C=12.6	
3	国道256号 堀越峠道路	自 岐阜県郡上市 八幡町初納 至 岐阜県郡上市 八幡町入間	R5年度事業化	無	390 448	58(約15%) 58 -	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大 きな変化が見られない	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和7年 3月末時点)	・令和7年度は以下内容を実施 【郡上市八幡町初納～郡上市八幡町入間】 ・調査推進 測量、 調査設計(協議用資料作成等)	・3次元モデルを用いて構造を 視覚的にわかりやすく表現す ることで、円滑な協議を推進。 ・技術の進展に伴う新工法の 採用等、コスト縮減に努めなが ら引き続き事業を推進してい く。	【事業全体】 総便益B:1,897億円 総費用C:1,371億円 B/C=1.4 【事業全体】 総便益B:2,401億円 総費用C:1,617億円 B/C=1.5	【残事業】 総便益B:- 総費用C:- B/C=- 【残事業】 総便益B:1,642億円 総費用C:757億円 B/C=2.2	継続
・費用便益分析マニュアル改訂に伴い、各便益 の原単位、走行台キロの年次伸び率が変更													